

科目責任者 林 弘美 (英語・英語学研究室)

■ 教育目的

大学で学ぶ英語は将来の仕事と研究活動で使うことのできる英語の基礎となるものである。将来薬剤師や薬学研究者等として医療の進歩に役立つ科学技術と知識を獲得し、また自らの意見や考え方を発信することができるような英語力を身につけることを目標とする。

今年度は下記テキストを使用し、薬学の領域を広く知ることができるよう英文を読み、高校までに培った英文法と英語力を確認しながら、バランスの取れた英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の向上をめざす。医学・薬学英語の基本、自然科学分野の英語文献の読み方、病院や薬局で薬剤師が必要とする口語表現の習得も目的とする。

■ 学習到達目標

1. 易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。
2. 易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。
3. 薬学に関連する英語の専門用語のうち代表的なものを列挙し、その内容を説明できる。
4. 短い日本語を文法にかなった英文に直すことができる。
5. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。
6. 英語の基礎的音声を聞き分けることができる。
7. 主な病名、組織・臓器名、医薬品名などを英語で発音できる。

■ 準備学習 (予習・復習)

予習：授業予定の章の音声を聞きながら英文を読み、分からない単語を辞書で調べる。練習問題に自分で取り組む (50分以上)。

関連する内容を薬学の専門科目の教科書などで調べる (20分以上)。

復習：授業で習った英文を読み、構文、語句表現、内容を完全に理解する (30分以上)。

薬学の関連する分野の情報をインターネットなどで検索し、多角的に理解する (20分以上)。

■ 授業内容

下記のテキストを活用し、専門分野に関する英文を読み進めつつ、基本的な医学・薬学用語の確認をする。テキストの章立ては次のとおりである。

Unit 9：神経系の疾患と薬

Unit 10：免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬

Unit 11：循環器系・血液系・造血系・泌尿器系・

Unit 12：呼吸器系・消化器系の疾患と薬

Unit 13：代謝系・内分泌系の疾患と薬

Unit 14：感覚器・皮膚の疾患と薬

Unit 15：病原微生物 (感染症)・悪性新生物 (がん) と薬

Unit 16：研究に必要な法規範と倫理

テキスト以外にも創薬科学関係の題材やリスニング演習の補足などをプリントにより行う。

■ 授業分担者

A組 1班：中野 里美、 A組 2班：林 弘美、 A組 3班：瀬戸川 順子

B組 1班：田沢 恭子、 B組 2班：稲田 俊一郎、 B組 3班：池山 和子

C組 1班：松井 直樹、 C組 2班：須田 篤也、 C組 3班：田沢 恭子

■ 課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法

- ・練習問題や小テスト等により理解度を確認し、解説等によりフィードバックを行う。
- ・講義に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。
- ・期末試験 (90%) および小テスト (10%) で総合評価する。

■ 教科書

English for Student Pharmacists 1 日本薬学英語研究会 編 (成美堂)

■ その他

MY-CAST を利用して、医療・薬学領域に関する英語の情報をお伝えします。授業以外にも活用してください。